

クボタ 個人投資家様向け説明会

For Earth, For Life
Kubota

2017年9月 株式会社 クボタ (証券コード 6326)
人事・総務本部 総務部

目次

1. **クボタの概要**
2. **クボタの魅力**
3. **未来を支え続ける技術**
4. **今後3年間の経営方針**

クボタの概要

クボタの沿革

- 1890年 鋳物メーカー「大出鋳物」を創業
- 1893年 水道用鋳鉄管の製造開始
- 1897年 「久保田鉄工所」に改称
- 1839年 株式公開
- 1947年 耕うん機を開発
- 1960年 乗用トラクタを開発・商品化
わが国初の海外水道工事を受注・竣工
- 1972年 米国トラクタ市場に本格進出
- 2009年 タイで日系企業初のトラクタ生産工場が竣工
- 2012年 ノルウェー・クバンランド社を買収
- 2014年 フランスに大型畑作用トラクタの生産会社を設立
- 2016年 米国・グレートプレーンズ社を買収



創業者：久保田権四郎

クボタの会社概要

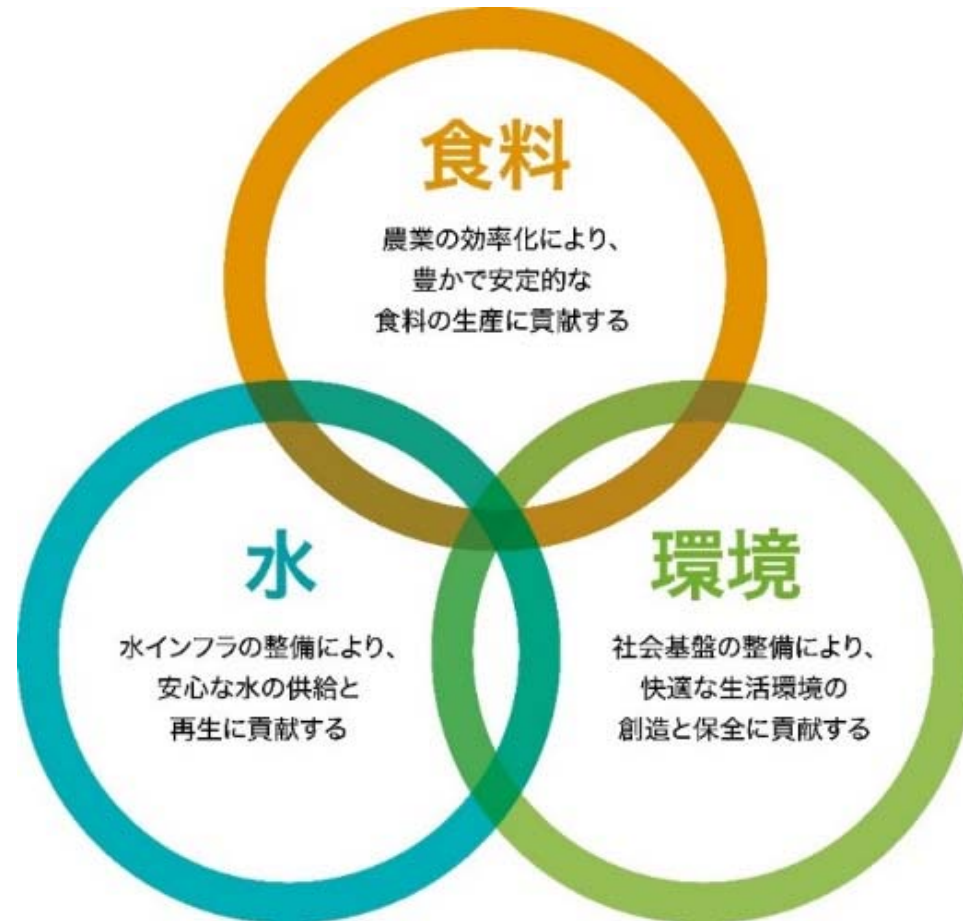
- ◆ **本社** 大阪市浪速区敷津東
- ◆ **代表取締役社長** 木股 昌俊（きまた まさとし）
- ◆ **連結売上高** 1兆5,961億円（2016年12月期）
- ◆ **連結従業員数** 38,291名（国内21,419名/海外16,872名）
（2016年12月末）
- ◆ **上場市場** 東証1部（証券コード 6326）
- ◆ **単元株式数** 100株
- ◆ **時価総額** 約2.3兆円（2017年8月30日終値、株価1,886円）
- ◆ **配当利回り** 1.6% *1



代表取締役社長
木股 昌俊

*1：2016年12月期配当と
2017年8月30日終値より算出

クボタ グローバル ループ



事業内容と売上構成

各種サービス事業、
住宅機材など

その他

水・環境

創業からの事業であり、ダクトイル
鉄管や、ポンプ、バルブなどで
構成



18.5%

1.8%

機 械

農業機械・建設機械・エンジン・
電装機器などで構成されている
クボタの主力事業

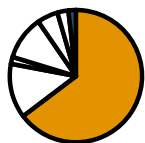
79.7%

2016年12月期
1兆5,961億円



事業セグメントの紹介 農業機械・エンジン

売上構成比
64.7%
2016年度



農業機械 国内シェアNo.1
エンジン 100馬力以下の
 産業用ディーゼルエンジン世界No.1

戦後の食糧難の時代から日本の農業とともに
 歩み、水田稲作を中心に成長した
 クボタの主力事業

トラクタ



コンバイン



田植機



芝刈機



UV



インプラメント



ガソリンエンジン

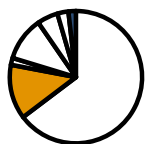


ディーゼルエンジン



事業セグメントの紹介 建設機械

売上構成比
13.3%
2016年度



6トン以下のミニバックホー
世界No.1

都市基盤整備などで活躍する小型建設機械
北米でNo.1小型建設機械メーカーを目指します

ミニバックホー

海外仕様



国内仕様

コンパクトトラックローダ



スキッドステアローダ

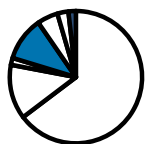


ホイールローダ



事業セグメントの紹介 パイプ関連

売上構成比
10.7%
2016年度



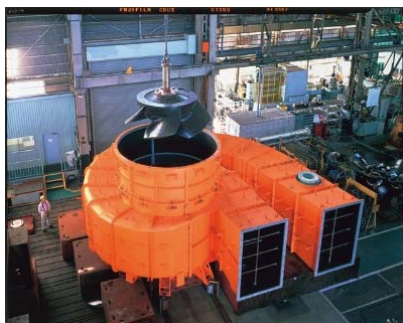
ダクタイル鉄管
合成管 日本No.1

創業からの事業で、ダクタイル鉄管、バルブ、ポンプ、合成管の製品を通じて、安心して安全な水の供給に貢献しています

ダクタイル鉄管



ポンプ



合成管

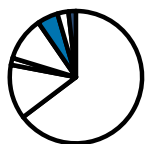


バルブ



事業セグメントの紹介 環境関連

売上構成比
5.1%
2016年度



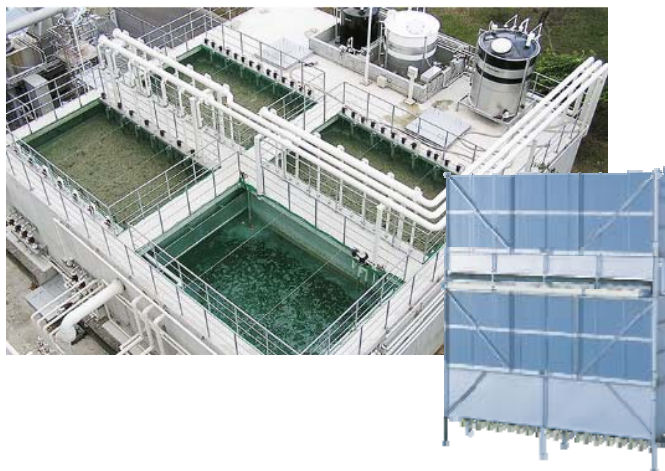
2017年4月 国内最大規模のMBR施設
中浜下水処理場水処理施設整備事業を受注

水不足や水質汚染など、世界の水問題が深刻化しています。安全で美味しい水づくりや、下水や産業排水の処理・再資源化において、クボタの技術が皆様の暮らしを支えます

上下水 処理設備



膜システム



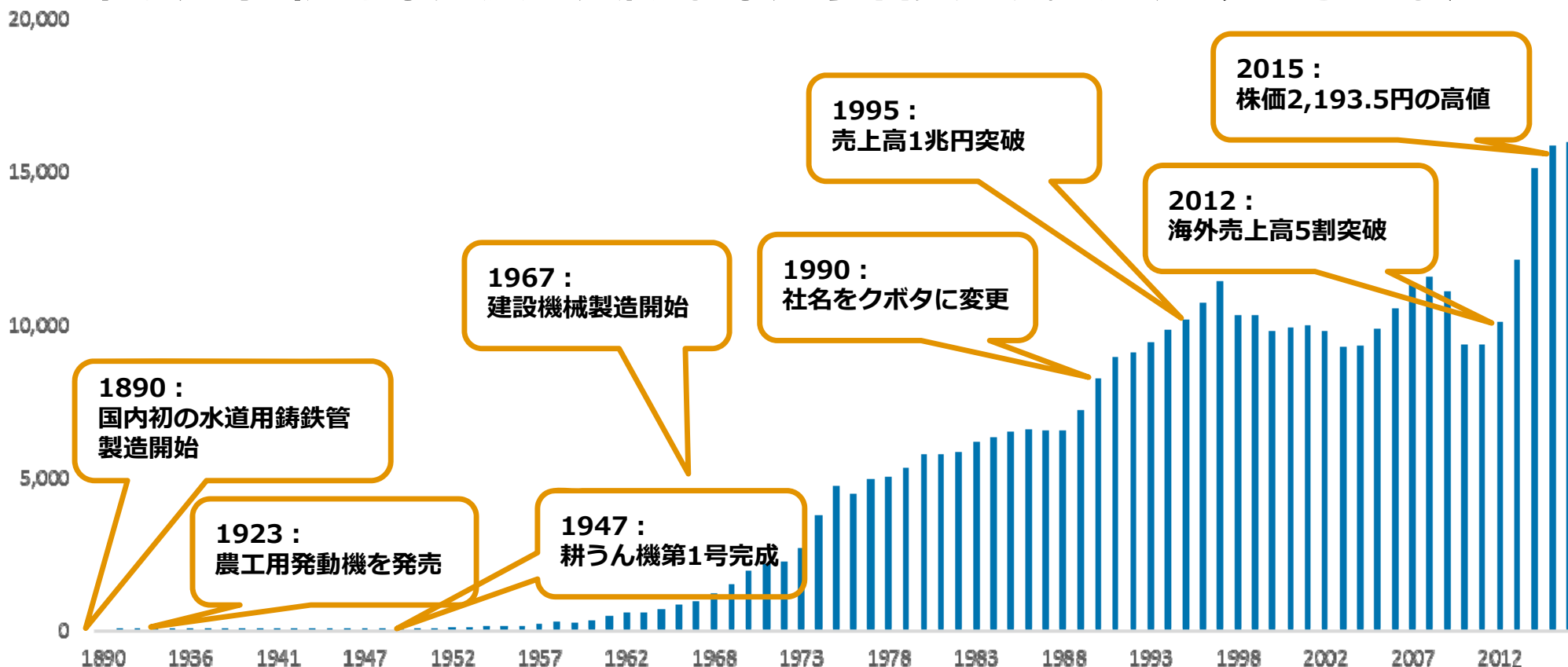
浄化槽



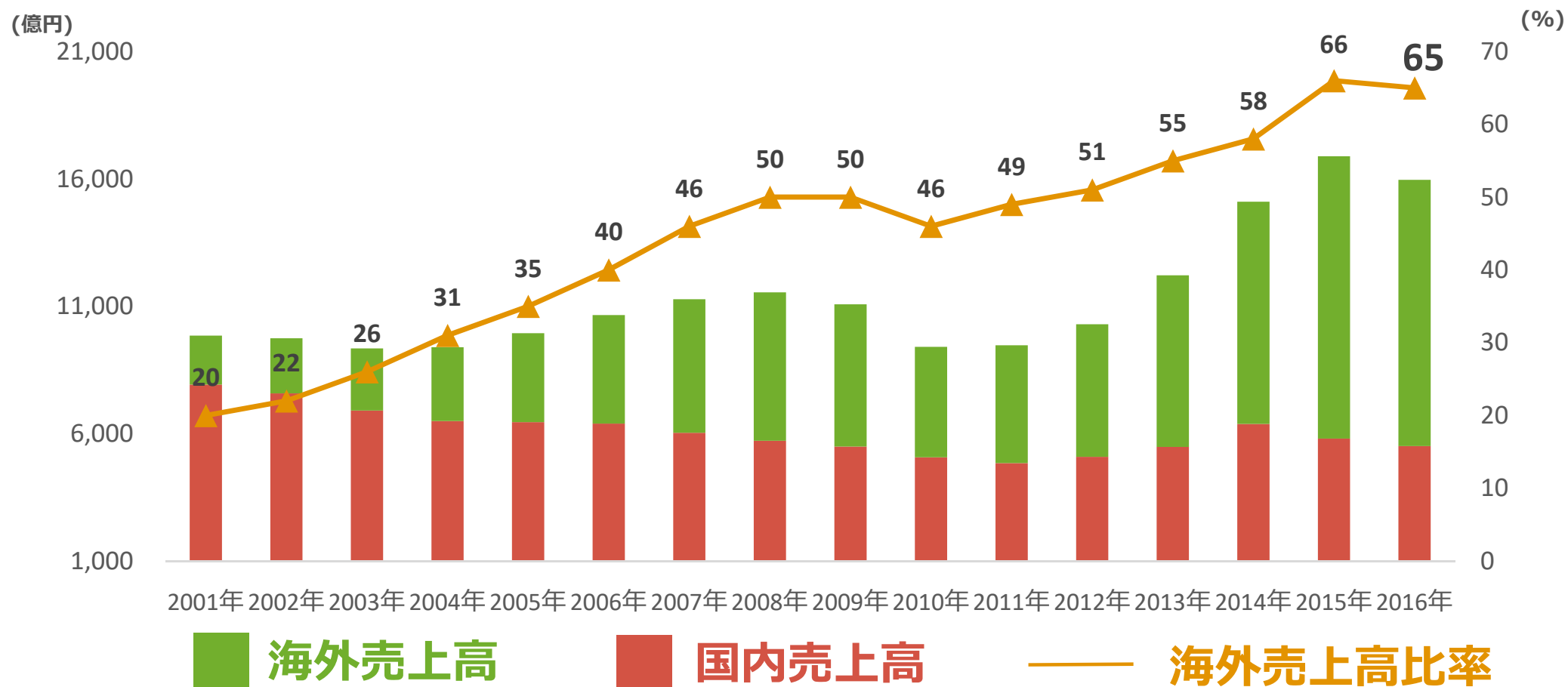
クボタの魅力

クボタ128年の歴史

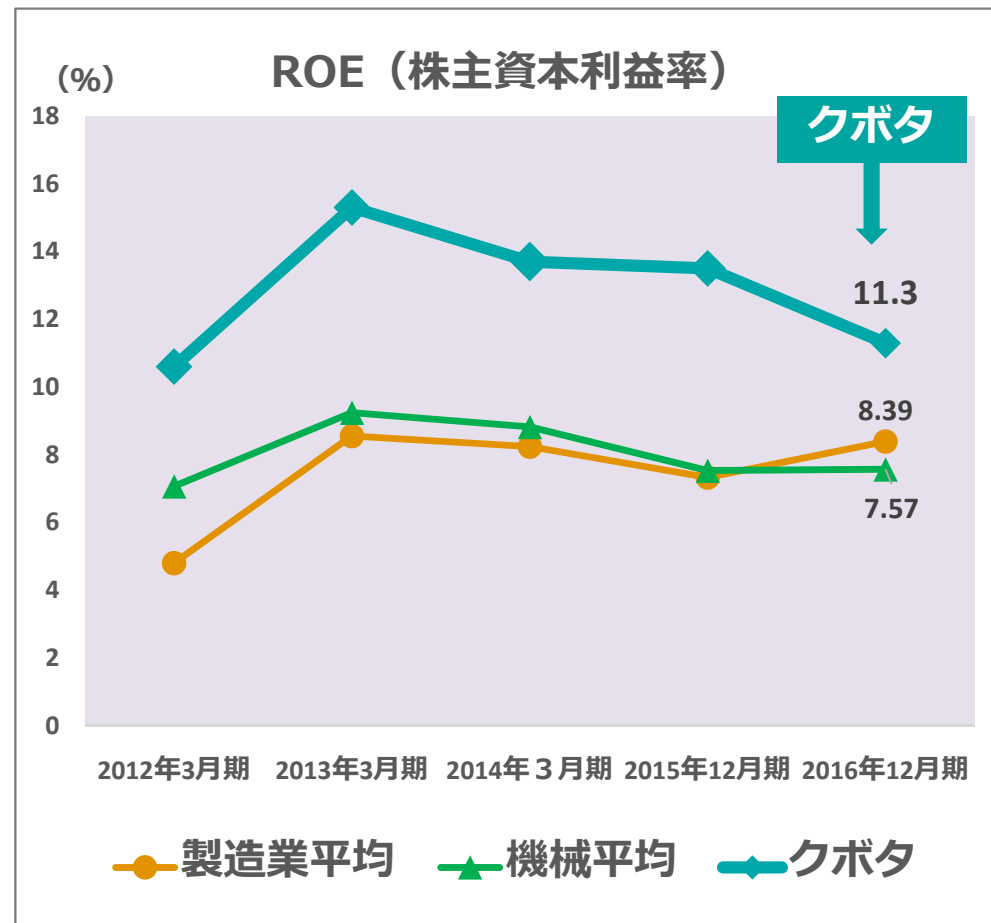
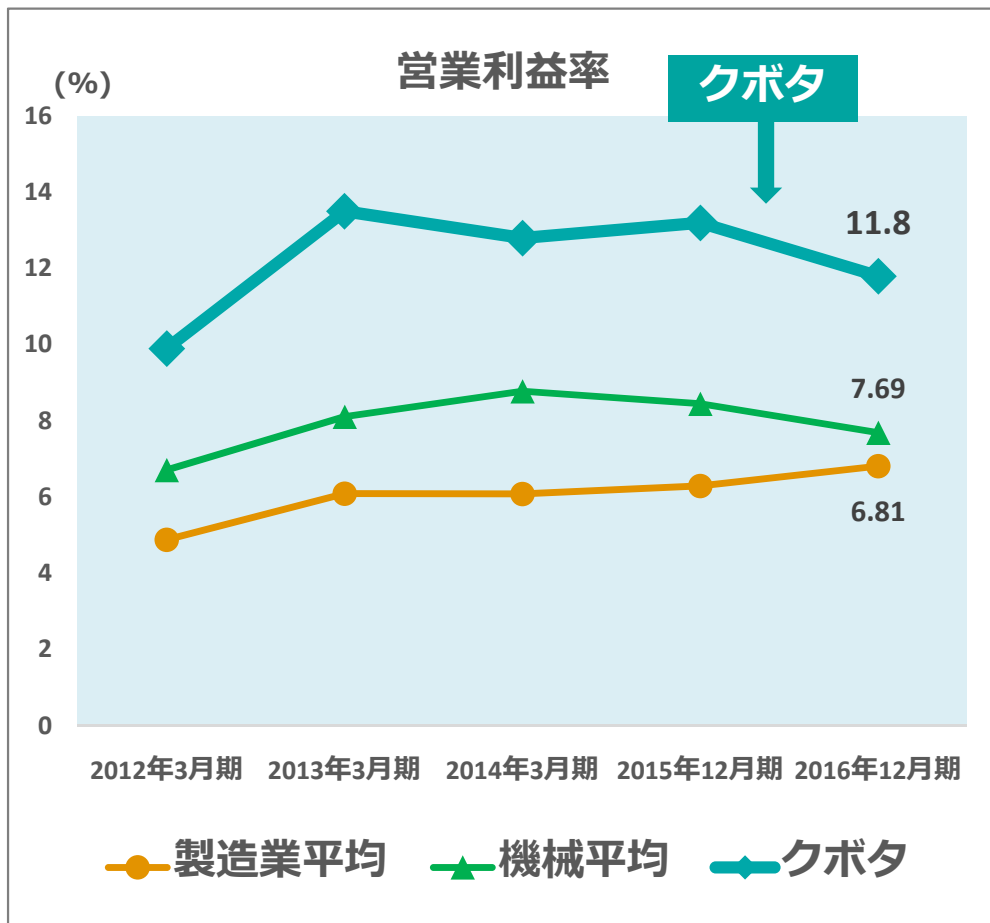
(億円) **社会の持続的な発展に貢献しながら着実に成長を遂げてきました**



成長可能性



高い営業利益率・ROE



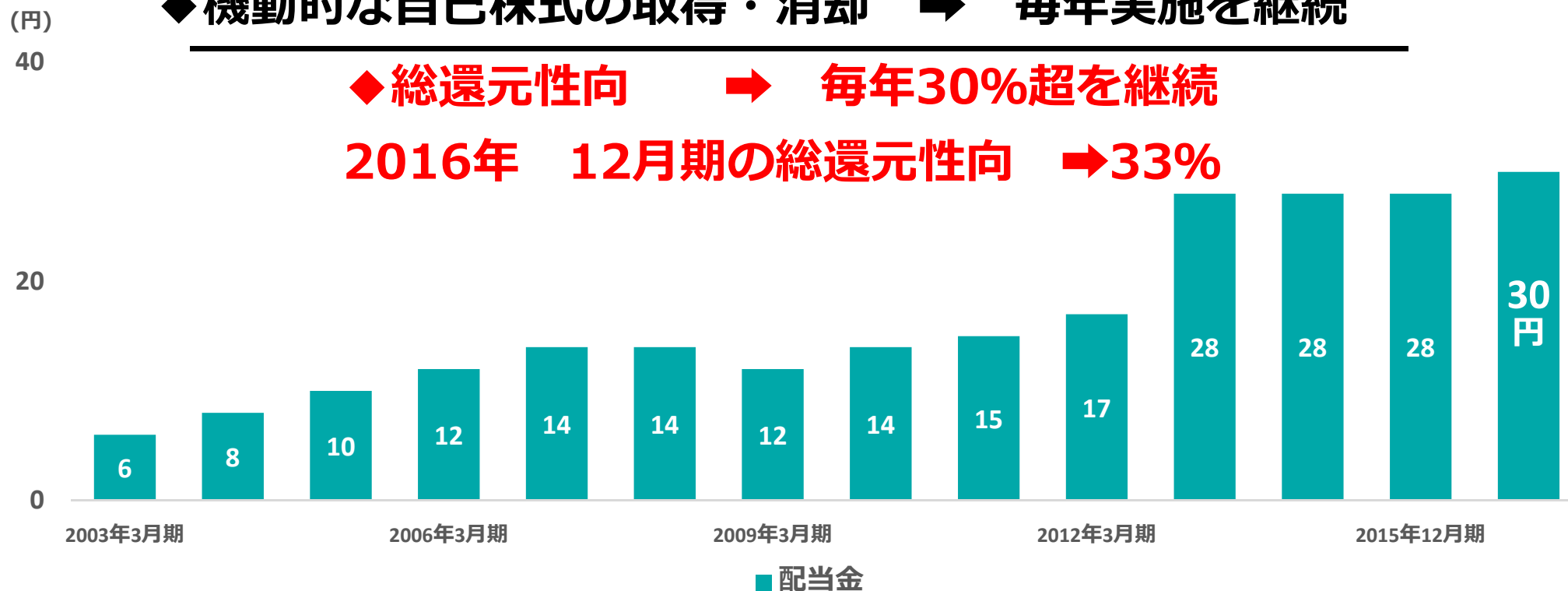
明確な株主還元方針

◆安定的な配当の維持・向上 → 目標 30%を継続

◆機動的な自己株式の取得・消却 → 毎年実施を継続

◆総還元性向 → 毎年30%超を継続

2016年 12月期の総還元性向 → 33%



未来を支え続ける技術

農業の未来を担う「農機 自動運転」

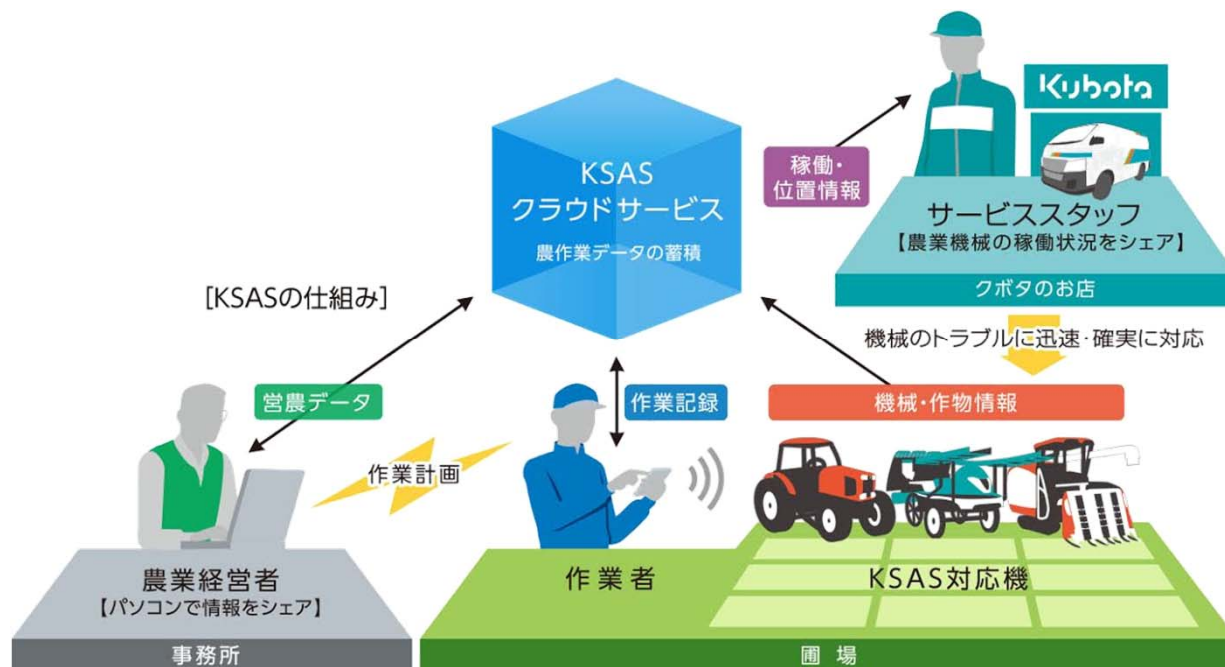
無人化に向けた技術開発を推進



2017年、自動運転農業機械モ二夕一販売開始。自動運転農機発売は国内初！

クボタが切り拓く「未来農業」

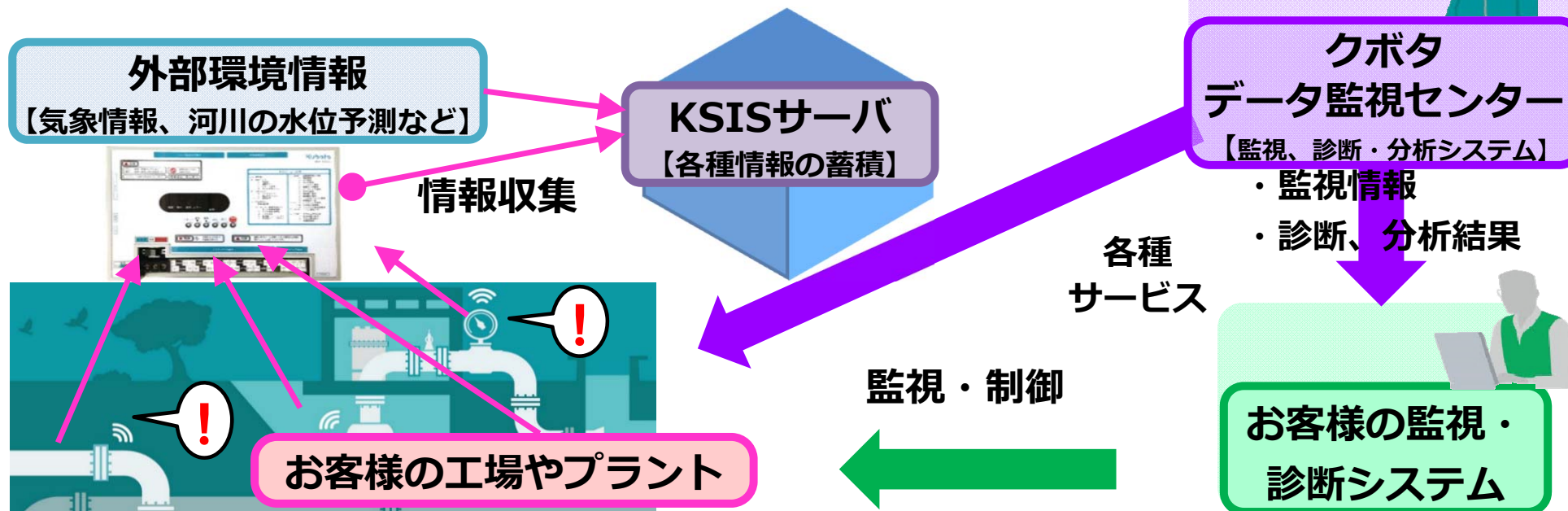
KSAS（クボタ・スマート・アグリ・システム）の開発



2014年、農業機械と連動し、高品質な作物の安定生産をサポートするKSAS発売

IoT技術を活用した水・環境のプラットフォーム

KSIS（クボタ・スマート・インフラ・ストラクチャ・システム）の開発



2017年、実証実験を開始（NTTグループと連携し技術の実用化を目指す）

排水の浄化で、水資源の有効活用と地球環境の保全に貢献

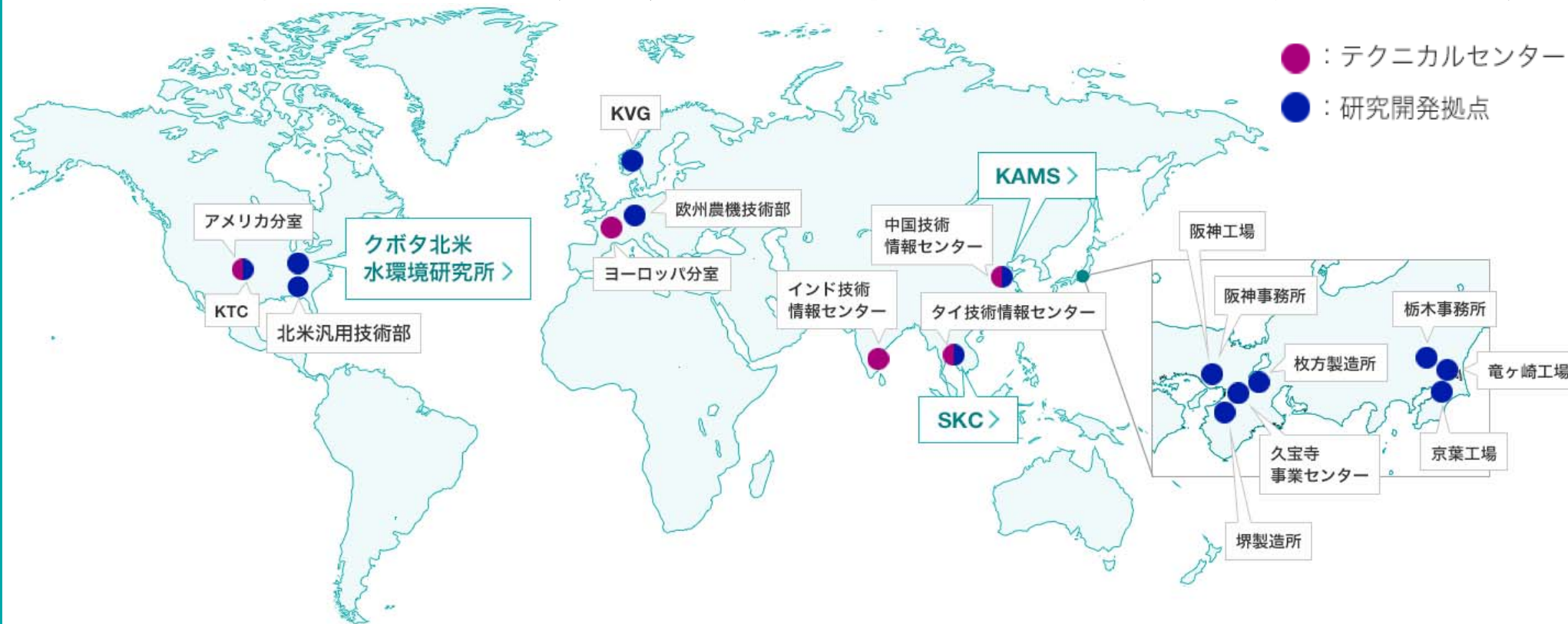
水問題解決の鍵は「排水の再利用」・「新たな水」を生み出す技術



2016年、北米最大規模の下水処理施設がオハイオ州に誕生

研究開発体制

各地域で異なるニーズを捉えるため、研究開発拠点は世界に広がっています



今後3年間の経営方針

今後3年間（2017年～2019年）の取り組み

◇事業領域の拡大による新たな成長機会の追求

- ✓アジアの稲作農機 No.1メーカー から世界の総合農機 トップクラスメーカーへ
- ✓建設機械事業を農業機械事業と並ぶクボタの柱へ
- ✓世界No.1の産業用エンジンメーカー(200馬力以下)へ
- ✓海外新市場(地域)への挑戦
- ✓農業機械 + 周辺機器 + 整備・サービス + ソリューション ⇒ 国内農業総合サービス事業へ
- ✓世界トップクラスのインプルメント・メーカーへ

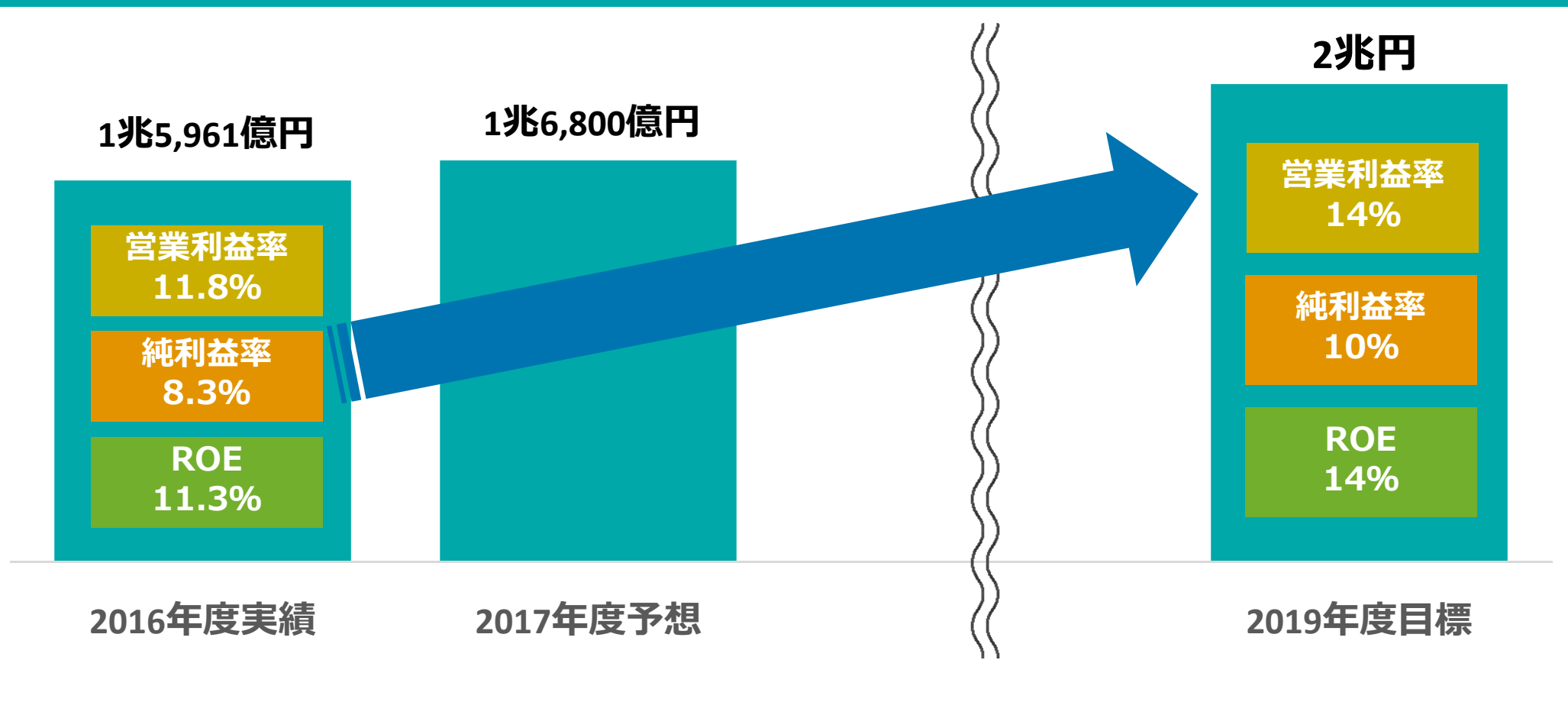
◇利益の極大化による成長原資の獲得

- ✓水・環境事業の収益力向上
- ✓低採算事業の根絶
- ✓間接部門のスリム化

◇経営機能のグローバル化によるグローバルメジャーブランドクボタの基盤構築

- ✓グローバル研究開発体制の確立
- ✓グローバル生産体制の強化
- ✓クボタ生産方式の展開・IT化の加速

3年後の目標



ご清聴ありがとうございました



当社は平成28年度「なでしこ銘柄」に選出されました

For Earth, For Life
Kubota

〈IRに関するお問い合わせ〉

株式会社 クボタ
総務部 株式グループ

電話 :06-6648-2034
E-mail : kbt_s.a0500070@kubota.com
HPアドレス : <http://www.kubota.co.jp/ir/>

〈免責事項〉

本資料で記述されている業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

【メモ】
